

町田市立学校（2000 年度以降建築・改築校）現地調査 実施状況

第 1 回検討部会で実施するものとした町田市立学校（2000 年度以降建築・改築校）現地調査について、その実施状況を報告します。

1 調査目的

- (1) 町田市において 2000 年以降に新たに校舎を建築した小・中学校を中心に、施設整備の実情を捉え、各学校の施設面での特徴を把握すること。
- (2) 訪問調査、アンケート調査を通じて新校舎整備の成果と課題を明らかにすることによって、今後の町田市の学校施設整備の方針策定に資すること。

2 調査概要

(1) 調査対象校

鶴川中学校、小山ヶ丘小学校、函師小学校、小山中央小学校、鶴川第一小学校

(2) 調査方法

①訪問調査

各学校へ訪問し、現地調査を実施。現地調査の際に学校施設機能の使用状況、利点・問題点などについて、聞き取り調査を実施。

※訪問者：山口 勝己会長（研究室の学生含）、屋敷 和佳（東京都市大学工学部客員教授）
教育総務課・施設課職員、株式会社 豊建築事務所

②アンケート調査

訪問調査を実施後、その調査結果を踏まえて対象校の教員に対するアンケート調査を実施。
※9月末～10月上旬を調査期間としてアンケート調査を実施。

3 訪問調査の実施状況

2020 年 8 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴川第一小学校（普通教室＋多目的室） ・函師小学校（普通教室＋オープンスペース）※可動式間仕切りあり
9 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> ・小山中央小学校（普通教室＋オープンスペース）※可動式間仕切りあり ・小山ヶ丘小学校（普通教室＋オープンスペース）
9 月 11 日	鶴川中学校（教科教室型）

4 アンケート調査の内容

下記の部屋・スペースについて、利用実態、評価（利点、問題点）、改善点などを調査する。特に小学校については、教室とオープンスペース、多目的室・スペースとの関係が重要となるため、その部分の利用実態把握と評価に重点を置く。

- ①普通教室：広さ、寸法（奥行き・間口）、机配列、収納スペース、掲示スペース、ICT 設備、環境（採光、通風、騒音など）など
 - ②オープンスペース：利用状況、広さ、教室との境界のづくり、家具・備品、掲示スペースなど
 - ③多目的教室：広さ、室数、利用状況・頻度など
 - ④特別教室：広さ、室数、設備など
 - ⑤図書室、パソコン室などのメディア関連諸室
 - ⑥教職員等の利用スペース：職員室、会議室、教材室など
 - ⑦施設や設備全般について優れた点や課題
 - ⑧教科教室型校舎の利用状況と利点・課題など（ホームベース、教科メディアスペース、教科研究室）
- ※⑧は鶴川中学校のみ